

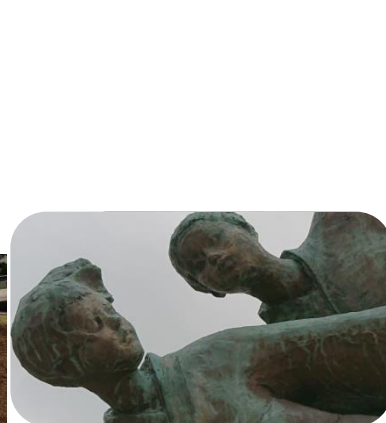
# 猛暑&残暑お見舞い申し上げます

ふりそでの少女像をつくる会

2020年9月1日



被爆75年の暑い熱い夏。コロナ感染拡大影響で、24年目の像の清掃と碑前祭の実現が危ぶまれましたが、慎重に感染対策しながら規模を縮小して、無事に行うことができました。天国の二人の少女と福留志なさん・松添博さんが守ってくださいました。活水高校の皆さんや駆けつけていただいた方々に心より感謝いたします。戦争も核兵器もない世界を実現できる日まで、ナガサキの自由な青い空を舞いながら、二人の少女はこれからも皆さまとご一緒に翔び続けるでしょう！



クモの巣や流れ出した緑青もゴシゴシゴシ！史子ちゃんと美奈子ちゃんの顔が綺麗になりました！！(8/7 夕方)



～活水高校平和学習部の皆さんの手で碑前祭が無事に終わる～



碑前祭(8/8 朝)を無事に終えた後は、近隣から訪れた家族などにゆっくり語り部活動を↓

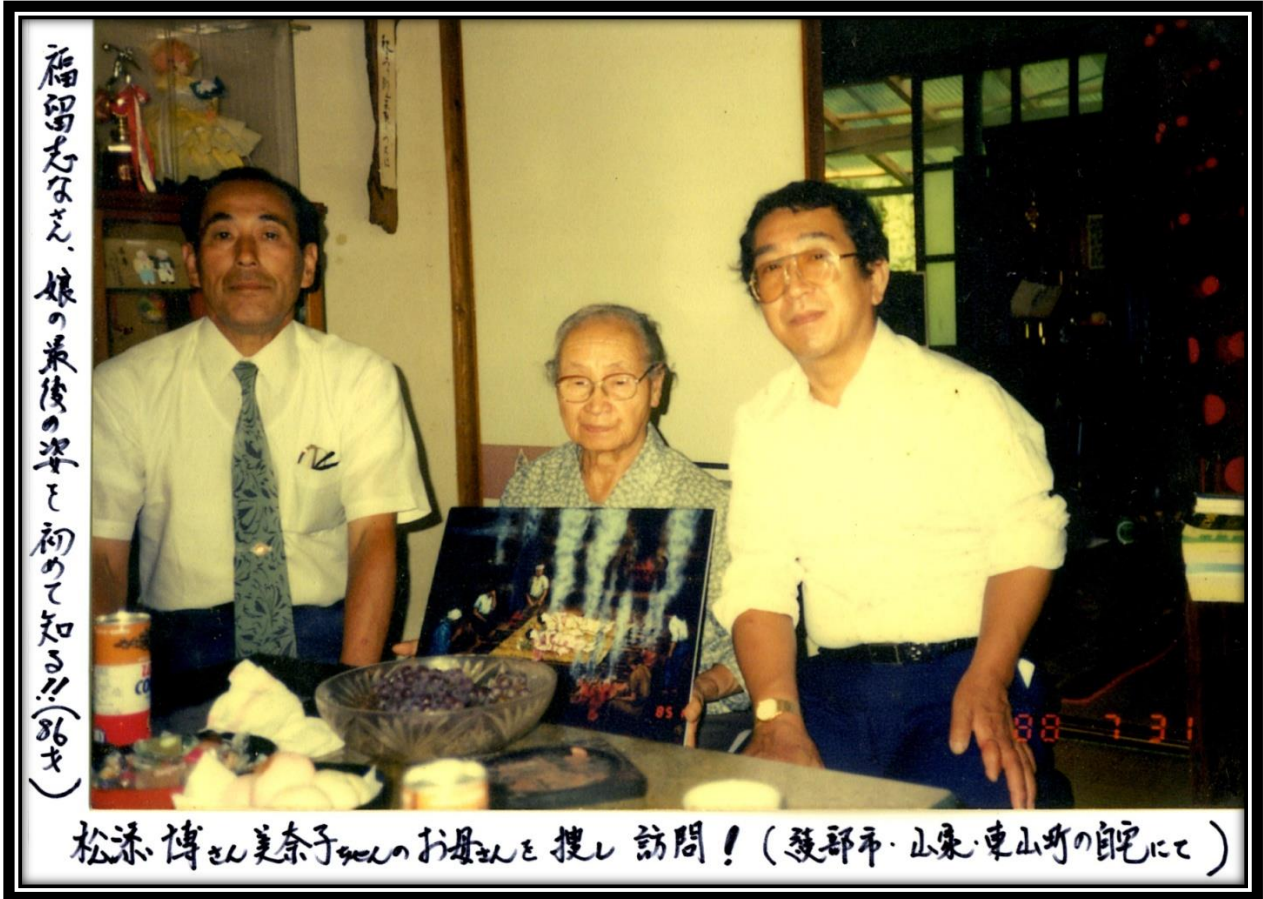






8/9.11:02 像の前で平和の鐘と共に祈りを捧げる！ピース・バトンの席も創意工夫！被爆4世の語り部！

↓今夏、初めて碑の前に供えた写真2枚(1988年綾部・1914年都城)↓



この奇跡の出会いがなければ、ふりそでの少女像は生まれませんでした(1988年夏)



志なさんが一番幸せだった頃の家族写真(真中が美奈子ちゃん)を像の前でカラー写真に変換！(水田洋平さん作成)